



新しい年を迎えて

校長 荒井 宏之

2026年となり、冬休みを終えた子どもたちが学校に戻ってまいりました。旧年中は、保護者の皆様、地域の皆様に多大なるお力添えをいただきありがとうございました。本年も子どもたちが集団生活の中で様々な経験を積み、一步一步成長していくよう職員一同、心を合わせて教育活動に取り組んでまいります。本年も御支援、御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、今年は、午年（うまどし）です。十二支の中でも、午は、躍動や成長、成功を象徴する縁起がよいものとされています。また、今年の干支は、60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）です。丙午の年は、炎のような情熱と勢いのある年となり、迷っていたことにチャレンジすると追い風が吹き、よい方向に進んでいくとされています。子どもたちには、2学期の終業式に、2025年を振り返るとともに2026年をどのような年にしたいか考えてみようという話をしました。冬休み中には、一人ひとりが気持ちを新たに目標を設定したことと思います。目標に向かって馬のように力強く前向きにチャレンジを続ける一年間にしてほしいと思います。

年末年始には、高校生たちのサッカー、ラグビー、バスケットボールなどの全国大会や大学駅伝があり、チームとして力を合わせて競い合う姿を多く目にしました。また、今年は、冬季オリンピックやサッカーのワールドカップ、ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）など世界規模のスポーツイベントが予定されています。子どもたちには、これらのスポーツに取り組む選手の様子からも一生懸命に物事に取り組むことや仲間を信じ協力することの素晴らしさを感じ、自分たちの生活に生かしていってほしいと考えております。

浦和レッズ西川周作選手がサプライズ来校

12月12日（金）6年生の3校親善サッカー大会に浦和レッズの西川周作選手がサプライズ訪問してくださいました。さいたまスタジアム2002の周辺3校で実施している本大会には、これまでも浦和レッズの皆様に御協力をいただきおりましたが選手の登場に今まで一番の盛り上がりとなり、3校の交流とともに地域愛を深めるよい時間となりました。また、大会終了後には、本校にサプライズ来校してくださり、給食の校内放送や6年生代表児童との会食をしてくださいました。2学期当初に「西川周作イズ」に取り組んでいたこともあり、低学年のフロアを歩いてくださった際には、子どもたちは、目を輝かせて大変喜んでいました。浦和レッズの皆様ありがとうございました。

市報さいたま緑区版「みどり」2026年1月号

標記の市報の表紙及び3ページに本校の記事が掲載されています。各御家庭に配布されていると思いますので、お時間のある時にお子様と一緒に御覧ください。